年間授業計画

第四商業 高等学校 （ ３ 学年用）

教科： 家庭 **科目 家庭総合** 単位数： ２ 単位

◆対象学年組：第 ３ 学年 Ａ 組 ～ Ｅ 組

◆使用教科書：（ 家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍） ）

◆教科: 家庭科 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】： 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】： 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】： 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

◆科目 家庭総合（３年生） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を体験的に身につけようとする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を通して生活の課題を解決する能力を養う。	さまざまな人と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第６章 食生活をつくる 【知識・技能】 ・食事の役割、各栄養素の種類と働きについて、理解する。 【思考・判断・表現】 ・世界の食について調べ、その多様性について理解する。 ・衛生と安全に配慮して、調理できるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解し、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	指導事項 １ 食事の役割について知る。 ２ 各栄養素の種類と働きについて知る。 ３ 食品の安全な取り扱いについて知る。 ４ 調理の目的を知る。 ５ 安全で衛生的な調理ができる方法と技術を身につける。 教材等 教科書・学習ノート・資料集	第６章 食生活をつくる 【知識・技能】 ・食事の役割について理解している。 ・各栄養素の種類と働きいついて理解している。 【思考・判断・表現】 ・食習慣の大切さに気付き、自らが主体となって、食事を考えることができる。 ・ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家庭や地域の違いによって、食文化が違うことを調べたり、説明したりできる。 ・安全で、衛生的な調理ができる方法と技術を身につけ、実践できる。	○	○	○	28
	定期考査			○	○	○	1
2学期	第３章 子どもと共に育つ 【知識・技能】 ・子どもの世界の大切さについて理解する。 ・子どもの健康と安全を守るための知識を身につける。。 【思考・判断・表現】 ・子どもの遊びについて安全や創造性を考えて、計画できる。 ・親として、大人としての子どもとの関わりかたについて理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会の一員として、子どもの権利を守り、親子の福祉を実現できるか考える。	指導事項 １ 子どもの世界を知る ①子供の時期の大切さを知る。 ２ 命の誕生 ①妊娠、出産と胎児の発育、乳幼児の成長発達について知る。 ②個人の発達段階の特徴と発達課題を知る。 教材等 教科書・学習ノート・資料集	第４章 子どもと共に育つ 【知識・技能】 ・子供の世界の大切さについて理解している。 ・子どもの健康と安全を守るための知識が身についている。 【思考・判断・表現】 ・こどもの遊びについて安全や創造性を考えて、計画したり、グループ内で発表したりする。 ・親として、大人として、子どもとどのように関わればよいか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会の一員として、自分たちの社会が子どもの権利を守り、親子の福祉を実現できているかを考えることができる。	○	○	○	21
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第10章 持続可能な生活を営む 【知識・技能】 ・自分の生活と環境には大きな関わりがあることを理解する。 ・SDGｓについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・作る責任と使う責任について学習する 【主体的に学習に取り組む態度】 ・持続可能な社会に向けて、自分たちにできることを考える。	指導事項 １ 日々の生活の行為が環境へ負荷を及ぼしていることを理解する。 ２ DDGｓについて理解し、一人一人の行動変容が解決の力になることを理解する。 ３ 市場で提供される商品が環境へ及ぼす影響を考えようとする力を養う。 ４ 持続可能な社会と個々人のライフスタイルの関連を考えさせ、実践に結びつけられるようにする。 教材等 教科書・学習ノート・資料集	第７章 持続可能な生活を営む 【知識・技能】 ・自分の生活と環境には大きな関わりがあることを理解する。 ・SDGｓについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・作る責任と使う責任について考える。 ・ライフスタイルや生活意識を見つめなおし、持続可能な社会の実現に向けて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・持続可能な社会に向けて、自分たちにできることを考え、実践する。	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70